

# 医療情報部

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	2 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	4 人	

## 2 教員の異動状況

木村 通男（教 授）(H8.10.1.～現職)

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	2 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	1.53	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	7 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
  1. 小林利彦, 木村通男: 病院内医療情報のフル活用を目指して -院内 Raw データの有効用-. 医療情報学 32(1):27-34, 2012. 【医療情報学】

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Balke W.T., Handels H., Kalet I., Kimura M., Kulikowski C.A., Moura L.A., Pommert A., Schulz S.: Discussion of "Spatial-Symbolic Query Engine in Anatomy", *Methods of Information in Medicine*, 51(6): 479-488, 2012.

インパクトファクターの小計

[1.53]

## (2-1) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男: 全国規模の大データベースの現状: 4. PMDA の NIHARI Project-Medical Information for Risk Assessment Initiative, 第 16 回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム 2012 in 函館, プログラム・抄録集, 55-57, 2012.
2. 木村通男: 医療情報の過去・現在・未来—Data, Information, Intelligence 第 3 回未来編 第 32 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 32 回医療情報学連合大会論文集 32-Suppl, 6-8, 2012.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 土屋かおる, 木村通男: 浜松医科大学附属病院 2009・2010 年新規採用薬の副作用について, 第 32 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 32 回医療情報学連合大会論文集 32-Suppl, 956-958, 2012.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 中谷純, 近藤克幸, 成田徳雄, 清水宏明, 有倉陽司, 常川聡, 木村通男: 災害における医療情報とその対策システム—現実、ヒューマンネットワーク、実用システム—, 第 32 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 32 回医療情報学連合大会論文集 32-Suppl, 42-43, 2012.
2. 中島直樹, 田嶋尚子, 木村通男, 野田光彦, 有倉陽司, 鍵本伸二, 古賀龍彦, 林道夫, 山寄勝也, 大江和彦, 藤田伸輔, 宮本正喜, 若宮俊司: 糖尿病医療の情報化に関する合同委員会の活動報告「糖尿病ミニマム項目セット」の策定とその展開, 第 32 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 32 回医療情報学連合大会論文集 32-Suppl, 92-95, 2012.
3. 小出大介, 木村通男: 治験、臨床研究、製造販売後調査・試験の IT 化のこれから (日本医療情報学会、日本薬剤疫学会、日本臨床薬理学会、日本臨床試験研究会の共同ワークショップ), 第 32 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 32 回医療情報学連合大会論文集 32-Suppl, 112-113, 2012.
4. 岡田美保子, 長谷川英重, 稲岡則子, 木村通男, 茗原秀幸: ISO TC215 各ワーキンググループの活動, 第 32 回医療情報学連合大会, 医療情報学, 第 32 回医療情報学連合大会論文集 32-Suppl, 194-197, 2012.

## (2-2) レター

### (3) 総 説

### (4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村通男 (編集): 電子カルテ・医療情報システム部品集 2013, (株)インナービジョン, 2012.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の

共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

#### (5) 症例報告

### 4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

### 5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度
(1) 文部科学省科学研究費	0 件 (0 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	3 件 (755 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件 (0 万円)
(4) 財団助成金	0 件 (0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	2 件 (273 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件 (0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

(2) 厚生労働科学研究費

・木村通男(代表者)地域医療基盤開発推進研究事業

医療情報システムのデータを利用した臨床指標に関する研究 (H23-医療-指定-015)

500 万円(継続)

・木村通男(分担者)地域医療基盤開発推進研究事業

電子的医療情報の利活用に必要な標準化の整備と普及策に関する研究 (H24-医療—一般-027)

150 万円(代表者:大江 和彦(東京大学))(新規)

・木村通男(分担者)医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースを活用した薬剤疫学的手法の確立及び

実証に関する研究(H23-医薬-指定-025) 105 万円(代表者:川上純一(浜松医科大学))(継続)

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

・木村通男 標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究 150 万円

・木村通男 SS-MIX 標準化ストレージを利用した医薬品の安全性に関する試行調査

123 万円 (2012.4. 2~2012.9.30)

### 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

### 7 学会活動

	国際学会	国内学会
--	------	------

(1) 特別講演・招待講演回数	1 件	2 件
(2) シンポジウム発表数	3 件	5 件
(3) 学会座長回数	0 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	3 件	5 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

1) 国際学会・会議等の開催

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

Kimura M.: Drug Adverse Event Detection and Clinical Indicator on National Standardized CPOE Data Infrastructure, The 7<sup>th</sup> Asia Pacific Association for Medical Informatics Conference, Beijing, China, October, 24, 2012. (特別講演)

3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

Kimura M.: Japanese Sentinel and MIHARI Project, CDISC Interchange Japan, Tokyo, July 12, 2012.

Kimura M.: Drug adverse event detection and clinical indicator on national standardized CPOE data infrastructure, GMDS2012, INFORMATIK 2012, International Japanese-German Meeting, Braunschweig, Germany, September, 19, 2012.

Kimura M.: Adverse Event Detection and Indications Based on Nationwide Standardized HIS-Export Infrastructure SS-MIX Storage, CDISC 2013 Asia-Pacific Interchange, Singapore, February 21, 2013

4) 国際学会・会議等での座長

5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

木村通男: 第 16 回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム 2012 in 函館, 6 月 1 日～2 日, 2012, 函館市.

2) 学会における特別講演・招待講演

木村通男: システム更新時のデータ移行を考える, 第 40 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 第 20 回医療情報分科会, 10 月 4 日, 2012. (教育講演)

木村通男: 医療情報の過去・現在・未来—Data, Information, Intelligence 第 3 回未来編, 第 32 回医療情報学連合大会, 11 月 16 日, 2012. (特別講演)

3) シンポジウム発表

木村通男: 糖尿病診療に有用な医療情報システムの構築, 第 55 回日本糖尿病学会年次学術集会シンポジウム 19: 糖尿病診療の情報化に関するわが国の現状 Information in Diabetes care in Japan : Current Status, 5 月 19 日, 2012.

木村通男: 全国規模の大データベースの現状: 4. PMDA の NIHARI Project-Medical Information for Risk Assessment Initiative, 第 16 回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム 2012

in 函館, プログラム・抄録集, 55-57, 6月1日, 2012.

木村通男: DB 活用目的 統合的活用の現状, 大規模解析、検査、レセプト、副作用情報,  
(独) 科学技術振興機構 科学技術未来戦略ワークショップ「ライフサイエンス・離床医学分野に  
おけるデータベースの統合的活用戦略」, 10月31日, 2012.

木村通男: 厚生労働省標準的医療情報交換推進事業 SS-MIX, の概要, 日本薬剤疫学会  
第18回学術総会, 抄録集 18, 11月10日, 2012.

木村通男: 厚生労働省標準的医療情報交換推進事業 SS-MIX の概要, 第33回日本臨床薬理  
学会学術総会, 臨床薬理 43 Suppl., プログラム・抄録集 S119, 12月1日, 2012.

#### 4) 座長をした学会名

木村通男: 第15回日本医療情報学会春季学術大会 シンポジウム 2012 in 函館  
6月1日～2日, 2012. 函館市.

木村通男: 第38回診療情報管理学会学術大会, 9月6日, 2012, 名古屋市.

木村通男: 第32回医療情報学連合大会 (第13回医療情報学会学術大会), 11月15日～17日,  
2012, 新潟市.

木村通男: 平成24年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議, 2月7日～8日, 2013. 新潟市.

#### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

Kimura M.: Fellow, American Medical Informatics Association American College of Medical  
Informatics

Kimura M.: Board, International Association for Medical Informatics

Kimura M.: President, Asia Pacific Association of Medical Informatics

木村通男 日本医療情報学会 会長

木村通男 日本医療情報学会中部支部会 世話人

木村通男 日本医学放射線学会 電子情報委員会委員

木村通男 日本IHE協会 副理事長、運営委員会 委員, 国際委員会 委員長

木村通男 日本HL7協会 会長

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	4件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

Kimura M.: Methods of Information in Medicine, Schattauer, Germany, Editorial Board,  
PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 1.53

Kimura M.: International Journal of medical Informatics, Elsevier, Ireland, Editorial Board,  
PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 2.41

Kimura M.: Journal of Biomedical Informatics, Academic Press Inc. Elsevier Science, USA, Editorial Board,  
PubMed/MEDLINE 登録あり, インパクトファクター: 1.79

Kimura M.: Healthcare Informatics Research, The Korean Society of Medical Informatics, Korea, Editorial

Board, PubMed/MEDLINE 登録あり

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

6回: Methods of Information in Medicine (ドイツ)

2回: International Journal of Medical Informatics (アイルランド)

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

(3) 学内共同研究

## 10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	1 件

1. 標準化規格準拠の電子的医療情報データの利活用に関する研究

## 11 受賞

(1) 国際的な授賞

(2) 外国からの授与

Kimura M Fellow, American Medical Informatics Association American College of Medical Informatics, USA.

(3) 国内での授賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の電子診療情報等の安全対策への活用に関する試行調査への参画と指導

すでに4年目に入る上記事業であるが、今年度は、糖尿病、脂質異常、甲状腺機能亢進に関して、病名コード、薬剤コード、検査コードなどから一定条件下の患者抽出を行い、陽性的中率を算定したのみならず、急性腎不全については、CRCによるカルテレビューまでおこない、真の陽性的中率の算定を通じて、この手法の有効性を実証した。(木村通男)

2. 厚生労働省医薬食品局の医療情報データベース基盤整備事業への参画と指導

上記事業への全国で10参画医療機関の一つに選ばれ、平成24年度は他の6医療機関とともに、機器の搬入、設置調整が実施された。安全性情報検出は平成25年度より、いよいよ開始される。(木村通男)

### 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

1. 厚生労働省保険局は、初めて、レセプトデータの請求業務以外の2次利用を認めた。

「レセプト情報等の提供：サンプリングデータセットの提供に関する申出」を提出し、厳正な審査の結果、6提案が選ばれ、そのうちのひとつとなった。

この申出内容は、「全国の医療機関における紹介行為前後の同一検査実施調査」とし、紹介（診療情報提供料算定）の同月に、別施設で、同じ検査がどれだけおこなわれたかを調査し、腫瘍マーカー、CT画像検査、MRI画像検査すべてにおいて、2-3%の重複が認められた。このことをエビデンスとして、今後の診療報酬改定の際の電子データ加算の有効性が示された。  
(木村通男)

### 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

1. アメリカ医療情報学会フェローに推挙された。日本人では2人目である。(木村通男)

### 15 新聞, 雑誌等による報道

1. 木村通男; 医療情報システムの進化と普及により30年間で患者数3倍増が可能になった, 学会研究会 Frontline, 集中 Medi Con, JAN, 2013